

## 連系運転と自立運転

太陽光発電システムには、連系運転と自立運転という2つの運転モードがあります。

連系運転は通常時の運転モードです。発電電力を家庭内に供給し、足りない場合は電力会社からの供給でまかなうなど、電力を自動でコントロールします。

自立運転は非常時の運転モードです。停電などで電力会社からの電力供給が停止したときに、自立運転に切り替えると、太陽光により発電された電力を停電用コンセントから使用することができます。

## パワーコンディショナ 各部の名称



下図内の 1-1 ~ 3-5 は右ページの手順と対応しています。

①~⑥は右ページ手順内の番号と対応しています。

**① 運転ランプ（青）**  
パワーコンディショナが動作している時に点灯します。

**② 発電電力表示ランプ [kW]（緑）**  
表示部に発電電力が表示されている時に点灯します。

**③ 連系ランプ（緑）**  
連系運転中に点灯します。

**④ 表示部**  
発電電力やエラーコードなどを表示します。

**⑤ 運転スイッチ**

運転スイッチカバーは 図の矢印の方向に開いてください。

・運転スイッチの操作後は、カバーを必ず閉じてください。

パワーコンディショナの運転開始（「オン」）／停止（「オフ」）を行います。

ON 側が押された状態  
OFF 側が押された状態

通風口

**⑥ 停電用コンセント（本体側面）**

自立運転時、太陽光で発電した電力を供給します。

停電用コンセントとは  
自立運転時、太陽電池で発電した電力はこのコンセントより供給されます。利用したい機器を接続してください。

※壁面コンセントは別途  
設置工事を行った場合のみです。

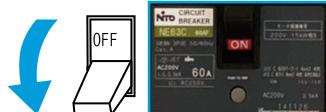
本体側面  
壁面

## 1. 停電時の使い方（自立運転への切り替え）

日中（太陽光発電中）に停電などで電力会社からの電力供給が停止したとき、システムを自立運転に切り替えると、太陽光により発電された電力を停電用コンセント（本体側面および壁面）から使用することができます。

- ・夜間など太陽電池が発電していないときは、パワーコンディショナのすべての表示およびランプが消灯し、自立運転への切り替えはできません。

1-1 ④表示部に「E1-0.0」が表示されている（発電している）ことを確認する。 

1-2 太陽光発電用ブレーカを「オフ」にする。  (太陽光発電用ブレーカは分電盤の中または分電盤の付近にあります。)

1-3 ⑤運転スイッチをいったん「オフ」にし、再度「オン」にする。 

1-4 ①運転ランプと②発電電力表示ランプ [kW] が点灯することを確認する。 

1-5 ⑥停電用コンセントに、使用したい機器を接続する。 (上記数値は例です。表示部には現在の発電電力が表示されます。)

- ・突然停止しても安全性に問題がない機器を接続してください。

- ・停電用コンセントでは、接続する機器の消費電力は、1500VA 以下（AC100V で最大 15A 以下）になるようにしてください。

- ・本体側面および壁面に停電用コンセントがある場合、合計の消費電力は下記の値以下になるようにしてください。

PCS-40Z4 の場合：2000VA 以下（AC100V で最大 20A 以下）になるようにしてください。

PCS-55Z4 の場合：2750VA 以下（AC100V で最大 27.5A 以下）になるようにしてください。

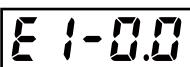
- 自立運転を停止させるには、運転スイッチを「オフ」にしてください。再度「オン」にすると、自立運転を再開します。
- 掃除機や冷蔵庫など、電流が急激に流れる機器を使用すると、保護機能が働いてパワーコンディショナが停止することがあります。保護機能が働いて自立運転が停止した場合は、以下の手順で再開してください。

[運転スイッチを「オフ」にする] → [停電用コンセントに接続している機器を減らす] → [運転スイッチを再度「オン」にする]

## 2. 停電時、自立運転が停止してしまったら

パワーコンディショナは、天候の変化によって太陽電池の発電電力が低下したときや日の入り時に、自動的に自立運転を停止します。発電が再開した場合は、下記手順により自立運転を再開してください。

- ・夜間など太陽電池が発電していないときは、パワーコンディショナのすべての表示およびランプが消灯し、自立運転を再開させることはできません。

2-1 ④表示部に「E1-0.0」が表示されている（発電している）ことを確認する。 

2-2 ⑥停電用コンセントに接続している機器をはずす。

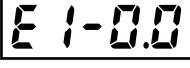
その後、上記「1. 停電時の使い方（自立運転への切り替え）」内の 1-3 から 1-5 を実施する。

## 3. 復電時の操作（連系運転への切り替え）

復電後は、手動で連系運転に切り替える必要があります。

3-1 ⑥停電用コンセントに接続している機器をはずす。

※夜間に復電した場合は、停電用コンセントに接続した機器をはずし、太陽光発電用ブレーカを「オン」にするのみで結構です。翌朝、自動的に連系運転モードで運転を開始します。

3-2 ⑤運転スイッチをいったん「オフ」にする。→④表示部に「E1-0.0」が表示される。 

3-3 太陽光発電用ブレーカを「オン」にする。

→④表示部にカウントダウンが表示される、または「HLd」が点滅。

（太陽光発電用ブレーカは分電盤の中または分電盤の付近にあります。） 

3-4 ⑤運転スイッチを「オン」にする。（カウントダウンが表示されている場合は、カウントダウン終了後に自動で連系運転を開始します。）

3-5 ①運転ランプ、③連系ランプおよび②発電電力表示ランプ [kW] が点灯することを確認する。

発電電力  
kW  
連系  
運転  
2.20  
kW · h  
積算電力量  
(2.2kW 発電時のイラストです)